

## 過年度事業の調査結果

資料2-3

施設名	事業名	事業目的	審査時の事業内容	調査概要
A並木	基金の並木造成事業	並木の造成	(資料が保存されておらず不明)	補助対象は、中心市街地での企業連携による並木道整備。日々、多くのビジネスマンや来阪者の目に触れる、大阪を代表するみどり景観のひとつとして知られている。 維持管理はそれぞれの企業が分担し、良好に行われている。
B病院	民間施設緑化推進事業	民間施設の接道部や屋上などの公共的空間や社会福祉施設等で行う福祉緑化	(資料が保存されておらず不明)	補助対象は、病院敷地の内部の緑化。花木を中心に植栽されているが、周辺の樹木が生長し日照不足となっていることもあり、生育はやや不良。施設内には歩道も整備されているものの、施設関係者を含め通行者・利用者はほとんど無い。 また、外周部はボリュームのある既存の緑地があり、良好に整備されているが、補助対象地は敷地外からはほとんど見え、景観形成効果は低い。 補助対象の樹木の内、生長に伴って隣接木と干渉し、間伐が必要なものが見られる。
C病院			(資料が保存されておらず不明)	補助対象は、郊外部の高台にある病院の敷地内の並木。手入れされたケヤキ並木が良好な景観と緑陰創出に寄与している。 住宅地に隣接しているものの、施設周辺は田園、森林が広がっており、事業効果が高いとは言えない。
D工場			施設外周部をオープンな緑地帯で取り囲むことにより、地域住民に潤いと安らぎを提供する みどりの乏しい地域での緑地創出であり、優良な緑化モデルとして地域の良好な環境形成に大きく貢献。	補助対象は、自動車解体工場の周囲接道部の緑化。周辺地域にはほとんど緑が少なく、緑化には大きく貢献している。 周辺部に植栽されたヒマラヤスギにより、施設の遮蔽効果や騒音の低減効果が発揮されている。一方で、枝が道路まで大きく張出し、自転車等通行の邪魔になるなど、危険な部分もある(近隣住民の声)。 また、ヒマラヤスギが植柵に対して大きくなりすぎ、根上がりが見られること、倒木の可能性もあり、今後対策が必要。 近隣からの苦情にも対応し、枝の選定や落葉掃除など、一定の管理が成されている。
E幼稚園			接道部を生垣にしてオープン性を持たせ、高中低木によるボリュームある植栽を行い、地域にやすらぎを与えることを目的とする	補助対象は、敷地接道部の緑化。よく管理されている。しかし、事業実施時は周辺部を生垣状にして緑化することとしていたが、補助事業実施後に接道の拡張により敷地を後退させたことにより、緑地の一部を提供し、敷地協会部にフェンスが設置されている。 また、緑地が削られスペースがなくなったことで、もともとは園児が通れるようなスペースだったが、狭くて通れなくなり、現状では園児等による利用はほとんど無い。 周辺地域には樹林等が広がっていること、敷地正面の大通りでなく、特定の住民しか通らないと思われる生活道路沿いの緑化であり、事業効果が高いとは言えない。

## 過年度事業の調査結果

資料2-3

施設名	事業名	事業目的	審査時の事業内容	調査概要
F病院	民間施設緑化推進事業	民間施設の接道部や屋上などの公共的空間や社会福祉施設等で行う福祉緑化	屋上に入院患者及び外来者が触れ合える憩いの場を創出する。	補助対象は、屋上と3階のバルコニーの緑化。屋上、3階バルコニーとも、立ち入りが管理されたセキュリティゾーンにあり、外来者は立ち入りできない。 屋上については、整備当初に数回利用したのみで、現在は全く利用されていないが、一定の管理はされている。 3階については、運動などができるリハビリ室に面しており、患者に利用されている。
G老人ホーム			地域住民や入居者・施設利用者に潤いと安らぎを提供する。 優良な緑化モデルとして地域の良好な環境形成に大きく貢献する。	補助対象は、老人ホームの敷地周辺部の緑化。ニュータウン内の幹線道路の交差点に立地し、隣接する施設との連続した接道部の緑化により良好な景観が形成されている。 花木を含む多様な樹種で構成された緑化は、季節変化のある景観を提供していると思われる。維持管理は比較的良好に行われているが、樹木生長等に伴い、消滅したり、被圧されている樹木も一部見られる。
H保育園			園庭に植樹を行い雑木林風に整備するとともに、地域住民に憩いの場を提供することを目的とする	補助対象は、保育園の園庭周辺部の緑化。整備内容として雑木林風に整備し、地域住民に憩いの場を提供することを目的とされているが、強剪定により不自然な樹形となっている。 また、地域開放は年1回の夏祭り時程度にとどまっている。
I老人ホーム			施設エントランス部にボリュームある緑地を設ける、屋上には緑と触れ合う場を設け、癒しの空間を創出する	補助対象は、施設エントランス部分（接道部等）と屋上の菜園部分等。 屋上菜園部分については、一部はデイサービス利用者により収穫等で使われている程度。果樹園を含め耕作放棄状態で雑草が繁茂している。 エントランス部分・接道部については、施設内部から見える範囲は良好に管理されているが、敷地外の道路側には枯れた木、コンパネが放置されている。
J老人ホーム			接道部に優良な緑化空間をつくり、屋上を利用した福祉緑化のモデルとして地域の良好な環境形成に貢献する	補助対象は、施設の周辺部、ベランダ部、屋上の緑化。エントランス部に斜面を活かした階段状の緑地が設けられており、インパクトのある景観を生み出している。 屋上、ベランダの緑地では、入居者により農作物栽培等のフィールドとして日々活用されている。 地元市では保育園や高齢福祉施設等のサポート活動を支援する元気アップ介護予防ポイントの制度があり、この制度を利用する高齢者が施設の緑地の維持管理に参画している。